

アメリカの文化に触れて

情報文化 2年 涌井秀永

私が留学先のアメリカで受けた印象と日本との違いはいくつかあります。まず大きく日本と違うなと感じ取ることができたのは人の違いです。アメリカ人は一つ一つの表現や感情の表し方が大きく、アメリカに行く前に私が持っていたアメリカ人のイメージと差異のないものでした。留学先の大学の生徒は私たちが日本人の留学生と知ってか知らずか、道ですれ違おうと笑顔で挨拶をしてくれることが多々ありました。日本では見知らぬ人に気軽に挨拶をするということが少ないと感じるので、気軽に挨拶をするという文化はとても新鮮でした。感情表現の違いを強く感じたのはスポーツの試合や講演が開かれたとき、コンサートがあったときなどです。スポーツの試合が開かれる前や、前半と後半のあいだの選手が休憩室に戻っている間の時間に音楽が流れることがあったのですが、その時にアメリカ人の人たちが体を大きく使って踊っている姿をたくさん見て取れることができました。コンサートの時も総立ちになって音楽にのる姿は日本でのミュージシャンのライブに行っているような感覚でした。ライブに行けばそのようなことも日本で味わうことができますがやはり大学や周りの人が知っている人ばかりだとどうしても恥ずかしさがでてしまい純粹に楽しむことができないこともあるかと思います。しかし、アメリカ人の周りの目を気にせずひたすら楽しんでいる姿は、見ているだけでこちらも楽しく感じるほどでした。講演が開かれたときも日本とは違いスタンディングオベーションで講演する人を迎える姿は日本ではなかなか見ることのできないものでした。初めてスタンディングオベーションの中に巻き込まれたときは、初めての経験と周りの迫力に圧倒されて私は周りと同じように立って拍手を送ることが出来ませんでした。人以外でアメリカと日本との文化の違いを感じたのはイベントです。私がアメリカにいた期間にあったイベントはハロウィンとサンクスギビングです。ハロウィンの日にはみんなで街に出て楽しみました。子供たちが仮装をしていたり街で大人たちがお菓子を配ったりなどとても賑やかな雰囲気があり楽しかったのを覚えています。寮にもたくさんの仮装をした子供たちが来て寮全体が賑やかな雰囲気に包まれました。サンクスギビングではたくさんの豪華な食事をいただいたり、挨拶回りをしたりしました。サンクスギビングならではのデザートや食事はとても美味しかったです。日本よりも一つ一つのイベントに全力なところでも違いを見ることができました。